

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人  
礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



シャボン玉で遊ぶ子どもたち!(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

皆様もお気づきのことと思いますが、このところ日本列島のいたるところで地震が起きております。場所によっては、震度5~6強等、かなりの大きさで、巨大地震の前兆を否定できない、という専門家の意見もあるほどです。

このような災害と共に、必ず生じてくる問題の一つが災害孤児の問題です。私共としても、子供達のケアをはじめとして、色々な面で、本格的な備えをしておく必要を思われます。

しかし、災害に関して言えば、なにも日本国内だけでなく、世界のあらゆる処で、いつ何が起きてもおかしくはありません。その点からいえば、国内だけでなく、世界を視野に入れての活動の備えが必要、と言ったところでしょう。そして、そのためには、現存の孤児院の働を、さらに強化しておく必要はあるでしょう。

ただ、皆様の御協力の故、孤児院の子供達はみな元気になっていることをお伝えしたいと思います。どうぞこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

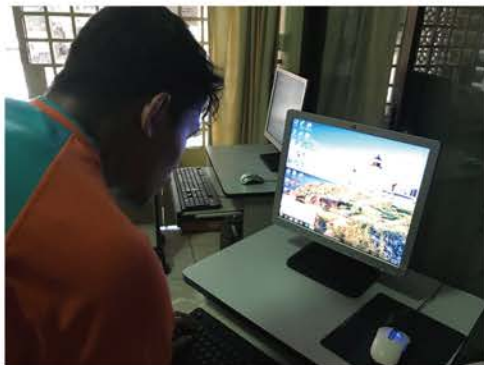
## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働き手の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

2月に入ってから、再び市中感染の影響で学校は休校になり、3月に入ってから感染拡大が続いている為、継続した休校処置が取られています。学校からは、定期的に宿題や課題が出されていますので、スタッフ達が受け渡しを毎回行っています。それと共に、オンライン授業も行われるようになっていきますので、孤児院内でも特に中高生の子供達がオンラインで学びが出来る

ように、すでにご支援を頂いて子供達が使っているパソコン2台にその対応を取ろうとしたところ不具合が見つかってしまいました。子供達が楽しみに待っていますので、さらに早急に準備を進めて行きたいと願っています。高校を卒業した1人は、大学進学を希望して2月に入学試験を受け、無事合格の通知を受けました。またもう1人は、職業訓練を4月から受ける予定になっていますので、それぞれにこれから具体的な新しい歩みが始まろうとしています。彼らのこれからの歩みの為に、皆様のご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしく願い致します。



パソコンをチェックする、ITを専攻しているVI。

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンでは、コロナウイルスから国民を守るために隔離政策が行われて1年になります。就学支援生もスタッフも全員感染から守られていることを感謝しています。

今までのところオンラインとモジュールの混合授業は順調です。この授業形態の成果はまだ分かりませんが、子供たちが本当に知識を得られているのか、これがいつ終わるかと言う思いはあります。子供たちが積極的に熱心に勉強する限り、子供たちを守ることに成り、オンライン授業は良いと思います。

3月は子供たちの次の学年(進級または留年)を決めるテストがありました。

3月3日、Class for Everyoneを通して送って頂いた残りのPCの内、新たに4台が届きました。これで送って頂いた34台中、26台を受け取ることが出来ました。本当に感謝しております。残り8台(4箱)が速やかに無事届くように願っています。フィリピンの子供たちのために、引き続き皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

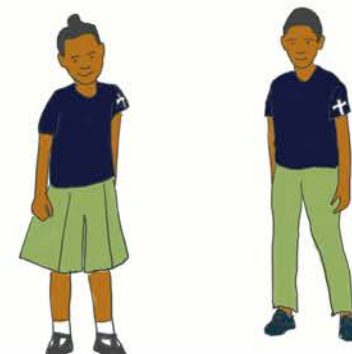


日本から送られたPCで授業を受けている就学支援生。

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に、心より感謝申し上げます。オンライン報告会参加後の喜びの中、この原稿を書いています。現場から、ライブ中継によって、生の子供達の様子を見て頂けた事は、とても大きな励みになりました。参加して頂いた皆さん、本当にありがとうございました。制服デザインコンテストにも、数多くの募集を頂いて、本当にありがとうございました。全ての作品が本当に可愛らしく、それぞれの方の思いや工夫が溢れていて、スタッフ共々とても楽しく拝見させて頂きました。選考にあたっては、ザンビアで入手可能な布である事や、テーラーが作れるもの、かつ低コストで、破けたりした場合の補正が容易である事等を考慮し、(とても難しかったのですが)ひと作品を選ばせて頂きました。現在、コロナ禍によりザンビア経済も悪化し、高校を卒業した後就職していたスティーブンとテリースが失業してしまいました。何とか自立の道を模索していましたが果たせず、わたし達のもとに戻って来ています。今後は教会の奉仕者として、訓練を希望していて、約半年~1年のコースでひとり8万円~ほどの必要があります。どうか皆様、ふたりへのご支援を宜しく願い致します。



ザンビアでの学校の制服のデザインが決定しました!

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。1月20日から日本に一時帰国しています。今回は東京をベースに少数の方々だけがソーシャルディスタンスを取って集まり、オンラインでの報告会となりました。初めての試みでうまく行くかとドキドキしながら参加しましたが、予想以上に多くの方々が見ておられるようで、励まされました。

ブラジルでは新型コロナウイルスの感染者数が一千万人、死者が25万人をこえ、24時間で感染者数8万人以上、死者2千人をこえる、世界ワースト2位になってしまいました。変異ウイルスでブラジルの名前のついたものが出現して、飛行機に乗る前の72時間以内のPCR検査、到着後のPCR検査が義務付けられ、機内はガラガラでした。その後も東京駅前前で格安にPCRできる所で検査しながら、気をつけて生活しています。ブラジルの田舎地方にいる私の知人たちは、whatsappというアプリで連絡していて、元気です。ブラジルで子供たちの働きができるようになりますように、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



オンライン報告会で話す松本スタッフ。